



● 基隆

シャトルバスの運行

船内新聞でご確認ください

帰船時間（自由行動の方々）

船内新聞でご確認ください

観光情報は、こちら！

台湾観光局
jp.taiwan.net.tw

船舶代理店

S5 Asia Limited, Taiwan Branch
13F, 50, Hsin Sheng South Road,
Sec.1, Taipei
TEL (886) 2-23931177

基隆 ポートガイド

Keelung Port Guide



基隆市内

基隆は台湾第二の港で、台北の外港として栄えてきました。もともとはここに暮らしていた台湾原住民族の族名がなまってケランと呼ばれるようになり、19世紀に基隆（キールン）と改められて現在に至ります。中国語の発音では「ジーロン」ですが、国際的にはキールンのほうが有名で、入港の際に見える、まるでハリウッドのようなプレートにも「KEELUNG」とあります。

1895年に台湾が日本の領土になると、基隆港の整備が進められ、同時に街も発展していきます。この時代には日本との航路も開設され、基隆の商人が大量のバナナを福岡県の門司港に持ち込み、バナナの叩き売りを行いました。太平洋戦争が終わると、台湾は中華民国に接收。今日基隆は首都台北のベッドタウンとして栄えています。また雨が多い土地として知られ、別名「雨の港」とも呼ばれています。そのため基隆駅前にある蒋介石総統の銅像も、ここで

は雨ガッパを着用しています。

港に面した駅から発車する鉄道で50分、やはり港近くのバスターミナルから出発する高速バスで約40分と、台北までのアクセスも至便。故宮博物院や世界第2位の高さを誇るビル「台北101」など観光にも便利です。映画『悲情城市』や『千と千尋の神隠し』のモデルとなった九份へもバスで45分。古い町並みをぶらぶら歩きながらノスタルジックな気分になれるでしょう。

台北や九份へ急ぐあまり忘れがちですが、基隆の情緒あふれる風情も捨てがたいものがあります。港を見下ろすように立つ22.5メートルの大観音像の内部は展望台になっており、そこからの基隆の眺めはおすすめ。そしてやはり必見なのは台湾三大夜市の一つ、基隆廟口夜市。港のすぐそばに屋台がずらりと並び、魯肉飯（ルウロウファン）など軽食やスイーツに挑戦でき、台湾を代表するB級グルメが楽しめます。



① 台北101ビル

ネーミングは地上101階建てというところに由来する「台北101」ビル。508メートルは、ドバイのブルジュ・ハリファに次ぐ世界第2位の超高層建築物です。89階にある台北101展望台から眺める台北市街は必見。天候が良ければ基隆港まで見渡せます。展望台まで利用するエレベーターの速さも分速1010メートルで、やはりブルジュ・ハリファに次ぐ世界2位。5階入口から89階までわずか37秒で到達してしまうスピードには驚きです。ちょっと変わった外観は、中華世界で縁起がいいとされる竹をイメージしています。

② 基隆廟口夜市

19世紀後半に建立された奠濟宮の参拝客を見込んだ移動式屋台が、次第に門前へ集まり始めたのがこの夜市の起源。奠濟宮を中心に約70店の屋台が軒を連ね、300種類以上の軽食やスイーツなどが売られ、いまや台湾でも有数の夜市になっています。基隆港から徒歩10分程度と気軽に立ち寄れます。

基隆の屋台では看板に日本語と英語で

何が食べられるのかを表示しているの、中国語ができなくても安心。また、夜市といってもまだ明るいうちから営業している屋台も多いので、日中でもそのにぎわいを楽しむことができます。

③ 国立故宮博物院

世界一の中国美術工芸コレクションを誇り、フランスのルーブル、アメリカのメトロポリタン、ロシアのエルミタージュと並んで世界四大博物館の一つに数えられています。ここには、およそ70万点近くの収蔵品があるといわれていますが、常時展示している品は、6000から8000点ほど。その中でも見逃せないのは、豚の角煮そっくりの「肉形石」とヒスイの原石を利用してつくられた「翠玉白菜」の彫刻2点と、古代中国の礼器「毛公鼎」でしょう。ミュージアムショップも併設され、至宝をモチーフとした雑貨など故宮オリジナルグッズもお土産に最適です。

④ 中正紀念堂／忠烈祠

およそ25万平方キロメートルと途方もなく広大な敷地のなかに建つ、これまた巨

大な建物が、蒋介石・元総統を祀った中正紀念堂です。内部には高さ6.3メートルの蒋介石ブロンズ像が安置されています。

ここでは10時から17時まで1時間ごとに衛兵交代式が行われますので、お見逃しなく。台北での衛兵交代といえば、忠烈祠で行われるものも有名です。かつて日本の護国神社があった場所に、革命や抗日戦争で亡くなった33万人の英霊が祀られ、午前9時から1時間おきに衛兵の交代が見られます。

⑤ 九份

かつて9世帯のみが暮らした山村で、「9世帯分」の物資を調達していたことからその名が付いたといわれます。日本統治時代にゴールドラッシュに沸いた金鉱・金瓜石に近く繁栄しましたが、戦後の金鉱閉山でさびれました。その代わり、街並みにはレトロな雰囲気が残されました。また侯孝賢監督の『悲情城市』のロケ地として世界的に注目を浴びたことで、観光客が急増しました。日本では宮崎駿監督の『千と千尋の神隠し』のモデルとなった街として有名です。基隆からバスで30分とアクセスも便利です。

足を延ばして

⑥ 野柳地質公園

基隆駅前からバスに乗って1時間足らずのところにある野柳。地質公園は北海岸に突出した全長1,700メートルの細長い岬となっています。ここには奇岩があふれ、まさに大自然の石彫博物館と言っても過言ではありません。代表的なものは女王の頭。そのほか、ミイラ岩や蜂の巣岩など、ユニークな形をした岩石がいっぱい。入場制限が行われる時間帯があるほど人気のスポットです。

⑦ 陽明山国家公園

陽明山は複数の火山から形成され、数多くの温泉が沸いています。陽明山公園は台湾で3番目に成立した国家公園で、温泉行楽地として賑わっています。また、トレードマークが花時計であることからわかるように、園内はツツジ、キンモクセイ、梅や桜などさまざまな花が咲きます。日本統治時代に建てられた、蒋介石・元総統の別荘「草山行館」は展示室となっており見逃せません。

港までの所要時間

基隆車站（基隆駅）より	■ 徒歩10～15分
基隆高速バスターミナルより	■ 徒歩10～15分
台北車站（台北駅）より基隆車站まで	■ 自強号で約20分、普通快速で約40分
国光客運台北東站バスターミナルより	■ 基隆バスターミナルまで：約40～50分
台湾桃園国際空港より	■ タクシーで約90分

基隆

おすすめグルメガイド

美食の島といわれる台湾。その中心地・台北には台湾だけでなく中国各地のおいしいレストランが軒を並べています。また、小吃（一品料理）やスイーツも充実。屋台でのB級グルメもあなどれません。そして台湾といえばお茶。茶器もいいお土産になります。



小籠包

台湾小吃の王様といえば小籠包!台北には小籠包の名店が自白押しです。日本など世界各国に出店するあの超有名店から、台北っ子の隠れオススメ店など、それはもう百花繚乱。また、レストランよりも安く食べるなら屋台で。台北に来て、手軽にそのグルメを体験するなら、小籠包は絶対に外せません。



台湾茶と茶器

台湾といえば、美味しいお茶の産地でもあります。そんな台湾茶をじっくり楽しみたいなら、台北市内にいくつもある茶藝館に行ってみましょう。もちろん極上の茶葉を買って帰るのも、台湾旅行の楽しみの一つ。気に入った茶器も買い求めて、自宅で台湾茶を味わってみてはいかがでしょうか？茶葉や茶器も台北市内のお店で購入できます。



魯肉飯（ルウロウファン）

台湾の地元料理の代表的なものの一つ挙げよ、と問われれば「魯肉飯」と答える人が多いはず。これは豚のひき肉をしいたけやニンニクと一緒に一度炒めてから、長時間煮込んだ具をご飯にかけてどんぶり飯のこと。もともと庶民的な料理だけに、レストランでも屋台でも格安の料金で食べられます。一度お試しあれ。